



2022年9月6日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 小 僧 寿 し
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 良 本 宜 之
(コード番号：9973 STANDARD)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 室 長 毛 利 謙 久
(TEL. 03-4586-1122)

株式譲渡契約締結（完全子会社化）に関するお知らせ

当社は、2022年9月6日開催の取締役会において、株式会社 JFLA ホールディングス（以下、「JFLAHD」という。）の連結子会社である株式会社 TB ジャパン（以下「TB ジャパン」という。）の「Taco Bell」事業を新設分割して設立される株式会社 TBJ（以下、「TBJ」という。）（東京都中央区：飲食店の運営事業）の株式を取得することを決議しましたのでお知らせいたします。

1. 株式取得の理由

当社は、「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」をスローガンに、持ち帰り寿し店を運営する「小僧寿し」、フードデリバリー店「デリズ」、鳥料理を中心とした飲食業態の「とり鉄」「とりでん」「ちどり亭」、ラーメン業態の「どさん子」、とんかつ業態の「キムカツ」等、全国で611店舗（2022年9月6日現在）を展開しております。

当社グループは、持ち帰り寿し事業「小僧寿し」を中核とした事業ポートフォリオの拡大を進めており、収益の柱となる事業の創出、事業間のシナジーによる新たな事業の開発を進め、継続的な事業成長を果たすための取組みを進めております。

上記の取組みにおきまして、2021年12月期においては、小売事業の食品スーパーマーケットを運営する株式会社だいまる（以下「だいまる」という。）の完全子会社化、鳥料理を中心とした居酒屋・外食業態の「とり鉄」「とりでん」を運営する株式会社 Tlanseair（以下「トランセア」という。）の完全子会社化、障がい者グループホーム「わおん」「にゃおん」を展開する株式会社アニスピホールディングス（以下「AHD」という。）の連結子会社化、飲食業態の「どさん子」「ちどり亭」「キムカツ」を展開するアスラポート株式会社（以下「アスラポート」という。）の完全子会社化など、積極的なM&Aの実施により、新たな収益の柱となる事業の創出を推進しております。また、連結子会社化した各社との取組みにおいても、以下の事業の取組みを推進し、各事業間のシナジーを生み出しております。

1. 小僧寿しとだいまるの協業による、小僧寿し店舗の総合小売事業化

だいまるの小売商品、物流機能を活用して、小僧寿しの店舗に食品小売事業の機能、商品を付加する取組みを推進しております。

2. 当社グループの各店舗における、フードデリバリー店「デリズ」の出店推進

当社グループの各事業ブランド・各店舗の厨房機能を活用して、フードデリバリー店「デリズ」の機能を付加した店舗を開発し、出店推進を行っております。

3. AHD との協業による、店舗の就労継続支援事業所化の推進

社会福祉関連事業を推進する AHD との協業により、小僧寿しの店舗を中心に、障がい者の方々への「就労継続支援事業所化」を進め、小僧寿しによる社会福祉事業領域の推進を図ります。

上記に記載するとおり、連結子会社の各社・各事業が有する機能を有機的に結合する事で、各社単体では実現出来ない新たな事業の開発を進め、当社グループの収益の柱となる事業の創出を進めております。その工程において重要視している点は、当社グループの各事業と有機的に結合出来る「事業ブランドを有している点」、及び、各社・各事業のブランドを展開する事が出来る「拠点・厨房機能を有している点」であり、これらの機能を活用する事で、提供商品のバリエーションの豊かさの実現、自社物流・自社デリバリー機能を活用した提供方法の豊かさの実現が可能となり、当社グループのスローガンである「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」に叶う事業推進が可能であると考えております。

一方、TBJは、TB ジャパンより、2022年10月3日付で新設分割により設立予定の企業です。TB ジャパンは、全世界で7,000店舗を超えるアメリカ発のメキシカン・ファストフード「Taco Bell (タコベル)」の、日本国内における出店を目的としたフランチャイズ契約をTaco Bell Corp.と締結し、当該事業を展開している企業です。

TBJは新設分割により、Taco Bell Corp.とのフランチャイズ契約を承継し、日本国内の「Taco Bell」事業の展開を行ってまいります。

TBJの株式取得にあたっては、世界的なメキシカン・ファストフードブランド「Taco Bell」を介して、当社グループに「ファストフード」のブランドが加わる事で、更なる食の多様性を実現する事が可能となり、また、当社グループが有する自社デリバリー機能を活用する事で、国内における「Taco Bell」ブランドの需要を更に拡大していく事が可能であると考えております。

TBJは、TB ジャパンより「Taco Bell」の日本国内における出店を目的としたフランチャイズ契約、及び、当該事業における資産を承継し、過年度において生じた流動負債等は承継せず、固定負債は、運営店舗に紐づく資産除去債務を承継いたします。また一方で、収益が見込めない店舗の閉鎖等を予定していることから、当該閉鎖店舗に係る負債は承継いたしません。その結果、資産合計123百万円、負債合計93百万円の資産超過となり、健全な財務状態の元で事業を開始致します。

当社グループの連結業績に加入する2022年12月期において、連結範囲となる期間が短期間であることから、2022年12月期において当社グループの収益に与える影響は軽微であると思込めますが、日本国内の「Taco Bell」各拠点において、当社グループのデリバリー機能を付加し、収益力の向上が見込まれる点、また、当社グループの管理本部機能を活用することによる管理コストの圧縮により、2023年12月期以降において、営業利益の創出が見込まれます。

TBJの完全子会社化においては、当社グループのスローガンである、「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」に基づく事業ポートフォリオの拡大戦略を更に加速させる事が可能であり、収益事業として当社グループの連結業績への貢献が見通されることから、TB ジャパンの親会社であるJFLAHDに対して、「Taco Bell」の事業機能の譲受の提案をしたところ、これに賛同を頂き、当該事業の譲渡を前提とした新設分割会社であるTBJを2022年10月3日に設立し、同社の全株式を譲渡することの提案を受けましたので、TBJの株式を取得することを決定いたしました。

2. 異動する子会社 (TBJ) の概要

(1) 名称	株式会社TBJ	
(2) 所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町1-5-6	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 檜垣 周作	
(4) 事業内容	メキシカン・ファストフードブランド「Taco Bell」の運営	
(5) 資本金	1,000千円	
(6) 設立年月日	2022年10月3日	
(7) 株主	株式会社JFLAホールディングス	
(8) 上場会社と当該会社との関係		
	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社取締役の檜垣周作は、TBJの代表取締役に就任する予定です。

	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当事項	人的関係に記載する関係から、関連当事者に該当します。		
(9) 経営成績及び財政状態 (※)		単位：千円		
決 算 期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
純 資 産	△288,571	△464,547	△711,633	
総 資 産	265,153	291,469	190,006	
1株当たり純資産	△1,442	△2,322	△3,558	
売 上 高	911,316	714,617	720,945	
営 業 利 益	△179,451	△207,082	△223,903	
経 常 利 益	△180,809	△205,167	△226,730	
当 期 純 利 益	△164,223	△175,976	△247,086	
1株当たり当期純利益	△821	△879	△1,235	
1株当たり配当金	-	-	-	

※会社設立が2022年10月3日であるため、参考として分割対象部門の過年度経営成績及び財政状態を記載しております。

3. 株式取得先（株式会社 JFLA ホールディングス）の概要

(1) 名称	株式会社 JFLA ホールディングス		
(2) 所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目5番6号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 檜垣周作		
(4) 事業内容	外食フランチャイズ本部の運営並びに外食店舗の運営 海外加工卸及び小売 乳製品等食品の製造、仔牛や家畜用飼料及び乳製品生産 食材や飲料の輸出入及び海外における販売事業 酒類、醤油、調味料、味噌、漬物、清涼飲料水の製造及び販売 事業 高級料理食材・製菓材・小売食品・ワインの輸入販売事業 業務用総合食品類卸売事業 等		
(5) 資本金	3,513百万円		
(6) 設立年月日	2007年1月12日		
(7) 発行済株式総数	46,027,305株		
(8) 決算期	3月		
(9) 従業員数	71名		
(10) 主要取引先	アサヒビール株式会社		
(11) 主要取引銀行	株式会社東京スター銀行		
(12) 大株主及び持株比率	HSI グローバル株式会社	23.88%	
	株式会社神明ホールディングス	7.03%	
	株式会社 SAKE アソシエイツ	4.99%	
	アサヒビール株式会社	3.81%	
(13) 上場会社と当該会社の関係			
	資本関係	2022年9月6日現在において、当社普通株式を6.05%保有しており、JFLAHDの子会社である株式会社アスラポート（以下「アスラポート」という。）を含めて株式の保有比率は14.85%であります。	
	人的関係	当社取締役の檜垣周作は、JFLAHDの代表取締役社長及びアスラ	

		ポートの代表取締役社長を兼任しております。 当社取締役の森下将典は、JFLA]HD の取締役を兼任しております。 当社監査役の齊藤隆光は、JFLAHD の取締役を兼任しております。
	取引関係	JFLAHD より、食材、包材等を購入しております。
	関連当事者への該当事項	人的関係に記載する関係から、関連当事者に該当します。

(14) 経営成績及び財政状態 単位：百万円

決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
純資産	12,276	10,035	8,282
総資産	57,843	52,258	48,452
1株当たり純資産(円)	283.24	221.57	151.47
売上高	80,871	69,619	70,374
営業利益	515	△1,185	△791
経常利益	217	△1,503	△827
当期純利益	1,689	△2,558	△1,884
1株当たり当期純利益(円)	40.30	△61.05	△43.55
1株あたり配当金(円)	4.0	4.0	4.0

4. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権所有割合：0%) (所有割合：0%)
(2) 取得株式数	10株
(3) 取得価額	当該取得価額につきましては、米国の「Taco Bell」ブランド総本部からの要請に基づき、非開示とさせていただきます。
(4) 異動後の所有株式数	10株 (議決権所有割合：100%) (所有割合：100%)

5. 日程

2022年9月6日 株式譲渡契約の締結
2022年10月3日 株式取得(予定)

6. 今後の見通し

本株式譲渡契約の締結により、2022年12月期第4四半期の当社連結業績の対象となります。なお、当期の通期業績予想値には、当該株式取得による影響は織り込んでおりません。当期業績に与える影響については、現在精査中であり、公表すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以上